

第1章 人口ビジョン 資料編

第1節 人口減少による影響の考察

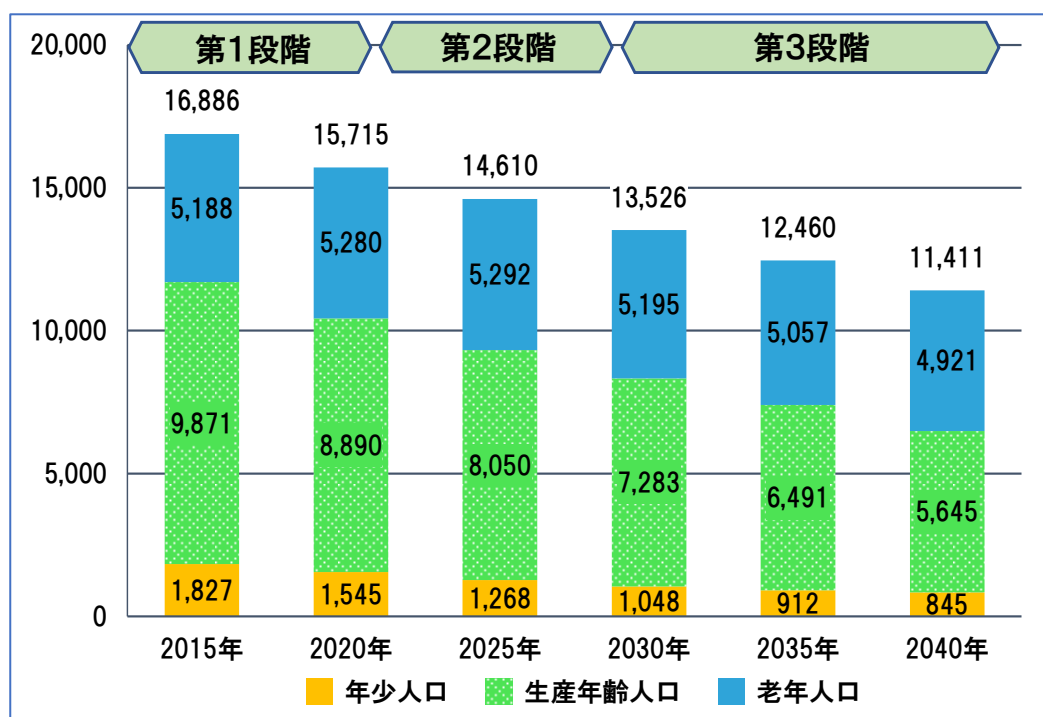
(1) 大洗町の人口減少の段階

本町の人口は減少傾向を示しており、世帯数についても2009年(平成21年)を境に減少局面に転じています。

人口減少は、下記のとおり「第1段階」から「第3段階」の3つのプロセスを経て進行するとされています。

第1段階	年少・生産年齢人口が減少、老年人口が増加
第2段階	年少・生産年齢人口が減少、老年人口は維持または微減
第3段階	年少・生産年齢人口・老年人口がいずれも減少

現在の本町はこのうち、老年人口がピークとなる第2段階にあると考えられ、2030年ごろには第3段階になると推測されます。



資料: 国立社会保障・人口問題研究所 単位: 人

(2) 人口減少により想定される影響

人口減少により、地域においてはコミュニティの活力低下や雇用をはじめ、福祉サービスなど様々な影響が想定されます。

住民アンケート調査において、人口減少による影響のなかで特に不安に感じることにについて、調査を行いました。その結果をみると、「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」が 55.3%と最も多く、次いで「地域から人がいなくなるという漠然とした不安」が 46.0%、「公共料金が高くなることへの不安」が 39.1%となっている一方で、8つのいずれの選択肢についても2割弱からそれ以上の回答があり、様々な分野において、人口減少社会への対応が求められています。

(本ページの結果は基本構想策定時(令和2年)のものです)

